

平成30(2018)年度
東京大学大学院学際情報学府学際情報学専攻
修士課程(社会情報学コース・特別選考枠)
入学試験問題
専門科目

(平成29年8月21日 14:00~16:00)

試験開始の合図があるまで問題冊子を開いてはいけません。開始の合図があるまで、下記の注意事項をよく読んでください。

1. これは、社会情報学コース・特別選考枠の問題冊子である。
2. 本冊子の本文は3ページである。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあった場合には申し出ること。
3. 解答用紙は5枚ある。第1問・第2問は、問題ごとに解答用紙1枚を使用すること。第3問は、選択した用語ひとつひとつについて、それぞれ1枚ずつの解答用紙を用いること。このほかにメモ用紙が1枚ある。なお、解答用紙のみが採点の対象となる。
4. 解答用紙の上方の欄に、問題の番号(例：第1問)、第3問は問題の番号と選択した用語の番号(例：第3問(18))及び受験番号を必ず記入すること。問題の番号、用語の番号及び受験番号を記入していない答案は無効とする。
5. 解答には必ず黒色鉛筆(または黒色シャープペンシル)を使用すること。
6. 解答は日本語によるものとする。
7. 試験開始後は、中途退場を認めない。
8. 本冊子、解答用紙、メモ用紙は持ち帰ってはならない。
9. 次の欄に受験番号と氏名を記入せよ。

受験番号	
氏名	

社会情報学（特別選考） 第1問

次の英文を読み、以下の問いに日本語で答えなさい。

下記出典の文章を掲載しています。

出典 Pentland, A. (2014) *Social Physics: How Social Networks Can Make Us Smarter*, Penguin Press.

- (1) 下線部(a)について、it の内容を明確にしながらか文意に即し 200 字程度で説明しなさい。
- (2) 下線部(b)を訳しなさい。
- (3) 著者の記述を踏まえながら、デジタルネットワークの登場によって、これまでになく変化が生じた実例を1つ取り上げ、400 字程度で具体的に説明しなさい。

社会情報学（特別選考） 第2問

学際情報学府入学後の研究計画を1000字程度でまとめなさい。ただし、(1)研究の目的、(2)意義、(3)関連研究との関係、(4)具体的な研究内容について、項目を分けて記述すること。

社会情報学（特別選考） 第3問

以下の（1）～（18）の中から、3つの番号を選択し、その用語の意味をそれぞれ300字程度で説明しなさい。ひとつの番号について、1枚の解答用紙を用いなさい。その際、必ず選択した番号を解答用紙に明記すること（選択した番号が記載されていない解答は無効とする）。

- (1) 国政調査権
- (2) 名誉毀損罪
- (3) 不正競争防止法
- (4) メディアによるシニシズム (media cynicism)
- (5) 放送免許 (broadcast license)
- (6) パナマ文書 (Panama papers)
- (7) 保護する責任 (responsibility to protect)
- (8) 自由民主主義 (liberal democracy)
- (9) 覇権安定論 (hegemonic stability theory)
- (10) フィンテック (Fintech)
- (11) 機械学習 (Machine Learning)
- (12) 実質賃金
- (13) 自己評価維持モデル (SEM モデル)
- (14) 内集団ひいき
- (15) 単純接触効果
- (16) 社会分業論
- (17) 印象操作 (E. Goffman)
- (18) 統計的有意性